

T.D.P

トップ・デジタル・マーケティング・プログラム

CLUB

yuji

2012年2月号

1. トップの責任

トップの責任は最終結果の責任である。
 過程における責任ではない。
 過程における責任は部下に取らせたい。
 トップが過程における責任ばかりに目がいき、
 口出しをすると、部下が育たず、組織作りに
 失敗する。
 我々の業界は部下を持たない経営者が非常に
 多い。

山口浩二

2011年12月

皆んよくがんばりました。
12月は昨年の1年間の努力の
結果です。

	2010年	2011年	差異
総計	111,792,601	118,611,056	+6,818,455

愛知県組合、日本製材理事長がこんなこと
言ってくれました。感謝

理事長雑感

「兄貴分」

僕には兄貴分がいる。男性美容師のはしりであるが、その中でも特出した人物でもある。今は男性美容師が花ざかりであるが、これまでの流れも知らず、自分こそが美容業界を動かしていると勘違いをしている人が実に多い事か。自信を持つ事は良い事であるが、先人に対するの礼として、今までの経緯や歴史的背景をも少し知って欲しいと常に思ってしまう。若い時は兄貴分に会うのが非常に緊張もしたし、怖い存在でもあった。しかし、人の不思議な処は会う日数を重ねる事と時間の経過から、リーダー的存在であった兄貴分に会うのが楽しみに変化していった事である。そんな兄貴分にもとても怖い人がいたという話を聞いた。今は故人になられたA・M氏であるが、その人からいろいろな人生哲学を学んだと聞かされた。その一つが犬は塀の上を歩かないゾ：塀の上は猫が歩く所であって、犬が歩けば落ちる。要は自分の分を知って、分をわきまえて事を起こせヨ…という事である。飲みに行くと酔っ払いながらよく危ない橋は渡るなよという事を諭された。何度も聞かされたものである。今は代を譲り悠々自適に暮らしているが、趣味で絵を描いている。一つの事柄で秀でた者はさすがにどの世界でも力量を発揮する。僕もいつかは兄貴分のような生活をしてみたいと思っっているし、義兄弟の契りを結んで良かったと心から思っている。

義兄弟を多く持つている人達に
感謝。